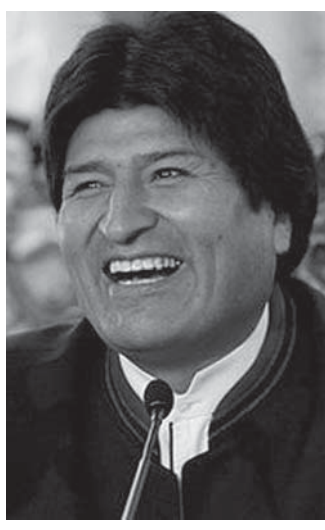


再出馬の国民判断は微妙 経済と社会の指標は抜群も

再出馬の国民判断は微妙

経済と社会の指標は抜群も

懸念の背景にベネズエラ



ボリビアのエヴォ大統領

貧困層と極貧層を事実上半減させ、これまでにない安定した政治をボリビアにもたらしたエヴォ・モラレス大統領が、就任から満10年を迎えた。

成が45%と、反対が優勢となっている。ボリビア・カトリック大学のラファエル・ロアイザ教授は、「エヴォに投票する有権者が、彼の行政を評価しながら、この再選をかけた立候補であり、3選目ではない」として、深い出来事だ」と話す。エヴォ大統領は14年19月12日、61%の得票率で再選を果たした。だが当時、同大統領は3選を禁じた新憲法の解釈に、不測及という異例の解釈を加えた。

09年に新憲法が施行されたことを受け、同大統領は、この法律に基づく1期を、翌10年からカウントするとしたのだ。この結果、14年の選挙は同大統領にとって再選をかけた立候補であり、3選目ではないとした。

同大統領再選は、経済と社会指標の改善から容易に想像できたものだった。

電子商業界が最高裁に提訴

ICMS新法に対して



全国財・サービス・観光・商業連合会(CNC)と零細・小企業支援機構(Sebrae)、電子商取引業界に関連した機関が共同で、州間を

伯界 外国観光客に期待

不況下にレジャー客増

伯界 外国観光客に期待 不況下にレジャー客増

市内のホテル業界は15年を「井戸の底」と受け止めているという。現在、市内のホテルは供給過剰の状態で、客室稼働率は47%前後で推移している。

宿泊単価の高いビジネス客は不況の影響を受けており、15年の収入は前年比30%減。一方、レジャー客はドル高レミアを背景に国際観光を断念した国内客の利用が拡大、収入は前年比33%増だった。

イースターエッグは小型に

16年のパスコアの商戦は?

国内チョコレートメーカーの多くが、2016年の復活祭(パスコア)商戦で販売するチョコレート製イースター・エッグの実売売上が、前年同期を下回ると受け止めている。

カカオ・シヨとワイレッジを除くメーカーは、生産量を前年並みとし、価格は7%から10%引き上げると、2015年10・67%を記録した拡大消費者物価指数(IPC-A)によるインフレを考慮した実質額



バイア州の海岸

不況の波はブラジル北東部のホテル業界にも及んでいる。2015年は、レアル安という為替の追い風効果がまだ弱く、ベルナンポコ州とバイア州などでは、業界の収入が30%落ち込んだ。

16年に関して業界は、レアル高を受けて過去数年にわたって客足が遠のいていた、外国人観光客が戻ると期待している。

ブラジルホテル協会バイア支部のグジセリオ・レモス・サンターナ会長によると、サルバドール

LJにより印象が悪化

腐敗認識指数で伯国76位

透明国際(Transparency International)が1月26日(1)に発表した2015年版腐敗認識指数によると、ブラジルは、国外から汚職に関する厳しい視線を向けられていることが示された。

0ポイント(完全な腐敗)から100ポイント(完全な透明性が保たれた状態)までを指数化した。ブラジルは、16回(38ポイント、16カ国中76位)にとどまった。

TIのアレハンドロ・サラス南米担当理事によると、「ブラジルに対する認識が悪化したのは、驚くべきことではない。メンサロン(政界取組事件)からスタジアムの建設

楽天がOSMから撤退

今後は技術サービスに専念

日本の楽天グループは、ブラジルのオンライン・ショッピング・モール(マーケットプレイス)から撤退する。2015年から本社の支援を受けてきたブラジル子会社(マーケットプレイス)が判断した。

平均18%値上りしている。2015年の中心は400グラムだった。コストは100グラムに32%上昇、砂糖の価格も30%値上がりしている。

こうしたことから業界では、生産ラインに手を入れ、包装や食玩を見直す一方、販売の流通も直すなどしている。

最も一般的な変化は、イースター・エッグの大

アナログ放送の停波先送り

デジタル移行計画は見直しに

ゴイスア州州長ウエルクデ、一般放送をアナログからデジタル移行し、アナログ放送を停波する計画は、デジタル化への移行が完了するまで見直しにすると、同州長が記者会見で述べた。

数か所から900店へ減少し、同社の売上も成長がストップしている。

業界アナリストは、ブラジル市場における楽天の知名度も、業績鈍化に影響していると分析している。

楽天は2011年末、オンライン・ショッピング・サイトを立ち上げ、ブラジル市場に参入。その後、B2W(ロージャス・アメリカナス傘下)やCnova(カノヴァ)グループ傘下)などの参入もあり、激しい競争にさらされてきた。

(1月26日付掲載)

タイヤ生産量が2.8%増

交換用タイヤ市場が自動車メーカー向けの需要の落ち込みを補い、2015年に国内タイヤ工業は、前年比2.8%増となる6860万本のタイヤを製造した。過去最高を記録した6890万本に迫る勢いだ。

全国タイヤ製造業者協会(Anitp)が発表したもので、自動車メーカー各社は調達量を23.9%削減したが、交換用タイヤ市場向けが9%増加し、交換用タイヤ市場の比率は63.5%に達した。

これと並行して、ドル高により国内市場で国産タイヤの価格競争力が高まった。2015年にタイヤの輸入本数は前年比29.4%減で、中国からの輸入は24.9%減少した。

Anitpは、2016年の製造本数を6860万本と予想している。

(1月26日付掲載)

B-side

経済ニュース速報 & データベース

- コピー&ペーストで報告書が作成可能な最新のビジネスニュースをいち早く入手したい
- データベース化された情報を利用したい
- 求めるニュースや話題を伝えてインタラクティブに情報入手・交換したい

効率的に連携させて 効果的な利用が可能です

そんな「したい」を、B-Side Solutionsがお手伝いいたします。

お問い合わせは、サイト運営会社の B-Side Solutions Ltda. へ。

Rua Apeninos, 665 1ºand. Sala3 Paraíso - São Paulo - SP Tel: (11) 3271-5680 <http://b-side.brasilforum.com/> b-side@brasilforum.com

B-side からのお知らせ

龍谷大学同窓会南米支部が発足

龍谷大学経済学部1期生(昭和40年卒)でパラグアイ在住の島崎允也(しまざき・ゆよ)氏が発起人となり、さる6月10日、サンパウロ市内で、パラグアイとブラジルの龍谷大学OBにより龍谷大学同窓会南米支部が発会しました。

南米支部は当面、社会学部2期生(平成5年卒)の美代賢志(みよ・けんじ)氏が世話人となり、調査・翻訳会社「B-side」の事務所を連絡先とします。OBリストへの登録を希望する方は kenji_miyohotmail.com までメールにて連絡ください。

